

令和5年度第1回理学療法講習部会 議事録

参加者：藤、成田、森、山内、石橋、落合、菅野 欠席者：山本 書記：石橋

日時：2023年4月24日 19:00~21:30 場所：Zoom meeting（オンライン会議）

議題

1. 理学療法講習部運営に関する書類一覧について

- ・ 今後、部会開催や講習会関連書類等、兵庫県理学療法士会が契約している Microsoft OneDrive for business にて管理する方向で進める。
- ・ 今後、部会に関連する書類は OneDrive 上で共有する。

2. 令和5年度講習会当日スタッフの出務について

- ・ 現在、講習会当日のスタッフはトラブル対応のため全員県士会事務所へ出務している。
- ・ 講習会の規模にもよるが、基本的にはスタッフ3人体制（司会、Zoom 対応、受講者管理）で対応する。
- ・ 配信場所についてはスタッフの自宅環境、万一の通信トラブルへの懸念、また講師のネット環境にもよる。講師の先生が事務所でやりたい場合は集まる必要がある。
- ・ 自宅参加が可能なスタッフは自宅から参加可とし、その際は申し出てもらうこととする。
- ・ 講習会の開催にあたり、権限上業務分担が難しい部分がある。運営時の役割について引き続き模索していく。

3. 令和5年度理学療法士講習会（協会助成金事業）の進捗報告について

- ・ 新年度に入り、講師3名へ正式な講義依頼書（公文書）を発行した。
- ・ アーカイブ配信への承諾も OK、講義資料は1名を除き OK となった。
- ・ 現在、講義テーマや内容を調整中。
- ・ 講習会開催にあたり、協会マイページのフォーマットへ登録が必要となっている。今後、各担当部員が一部作成を担っていく。
- ・ 本講習会についてもフォーマットが作成出来次第、協会マイページにアップ予定。5月上旬を目処として、フライヤーが作成出来次第メール配信を行っていく。

4. 令和5年度事業計画（主に講習部独自企画の3本）について

- ・ 前部会で検討した以下3本の講習会について進捗の確認・検討。

① 腎臓リハ

- ・ 講義時間：90分×3コマ ・開催時期：8月頃が候補
- ・ 講義内容：1）生理学基礎知識（筑波大学 小崎恵生先生） 2）保存期の腎臓リハ（大阪公立大学 音部雄平先生） 3）透析期の腎臓リハ（兵庫医科大学 松沢良太先生）
- ・ 上記で承認とし、正式に依頼を行う。

② 産科領域、骨盤底機能障害のリハ

- ・テーマ（案）：骨盤底機能障害と運動器症状～知っておきたい理学療法評価と治療～
- ・産科・骨盤底機能障害を特別なものと捉えるのではなく一般臨床でも取り入れられる内容とする。
- ・講師（案）：泌尿器科医師 青木芳隆先生（木村病院）PT 田舎中真由美先生（インターリハ株式会社 フィジオセンター）、PT 漆川沙弥香先生（フリーランス）。
- ・田舎中先生に更年期/老年期、漆川先生に思春期とライフステージで分けた内容で依頼する。
- ・上記で承認とし、依頼を行う。

③ 評価尺度

- ・評価尺度の解釈、臨床活用をテーマとして開催予定。
 - ・講師（案）：宮田一弘先生(茨城県立医療大学) 評価尺度の活用の仕方、久保宏紀先生(甲南女子大学) 組織の中で評価尺度をどのように活用していくか。
 - ・講義内容や開催時期についてはこれから講師と相談予定。神経理学療法学会での発表やシンポジストとしての参加があるため、学会が開催される9月は避けた方が良いか。
 - ・新人対象講習会で久保先生に講師を依頼しているため、偏りがないように講師の先生は再検討が必要。
 - ・新人講習会については前回の実績がある為、講師を変更せず実施するとスムーズではないか。
 - ・宮田先生に候補者を提案していただく方向で打診する。
-
- ・開催時期について：腎リハは8月で進める、骨盤底機能障害は11月以降年明け2月頃まで、評価尺度は9月の時期を避けて年内10-11月を目処に講師と話しを進める。
 - ・予算の枠組みについて：県外受講者は有料、県内受講者は無料を原則とする。
 - ・講習部としては受講料の金額設定は現状の価格で問題ないと考える。ただし、金額設定の根拠が乏しく、引き続き学術局の理事で話す可能性がある。進展があれば理事から報告いただく。
 - ・アーカイブ配信の了承について、県士会が作成した依頼文の書式を使用し講師から了承をいただく。
 - ・依頼文にある視聴期間2-3ヶ月表記について：現状見られる動画が少ないこと、アクセスが伸びていないことから広報の仕方や視聴期間の延長を検討している（デジタル戦略・広報支援部からの意見）。現状、講師との個人交渉となるが、できれば長く載せられるように対応していく。
 - ・山口理事にSNSのアカウントについて確認した。県士会公式と県学会公式のアカウント2つに限定する方向となる。広報誌に案内を載せる場合は広報部に連絡する。

5.新人対象講習会 委託施設の選定確認について

- ・昨年度と同様で問題なければ脳卒中（甲南女子大学 久保先生）、運動器（あんしんクリニック米家先生）へ委託予定としている。
- ・アンケート結果から講習会の内容としては継続で良いのではないか。
- ・脳卒中は講師の人選次第で変更する必要あり。上記の講習部企画（評価尺度）の講師決定後に検討する。
- ・実技講習の謝礼金については県士会の謝金規定で定められた金額で進める。
- ・計画書、報告書の記載例を作成する。

6.令和 6 年度 認定理学療法士臨床認定カリキュラムについて

- ・ 運動器が候補として挙げられた。理由として、近畿圏内は 4 施設の登録、兵庫県では登録が 2 か所と少なく、さらに登録施設における活動実績が不透明であること。また、運動器は全国でも認定取得者が多く需要が高いにもかかわらず、県外に出ないと受講できない点が挙げられる。
- ・ 集客面からも需要が高い運動器から開始する。
- ・ 課題として、受講費の基準が設けられていない。協会の謝金規定に準じると受講費が高額となるため規定と異なる設定になる可能性が高い。
- ・ 受講費設定が 1 万円～3 万円程度では講師依頼が難しく普及活動がしづらい。受講者-講師双方にメリットがないと依頼ができない。また赤字が出た開催施設もあるとの情報がある。
- ・ 講師側に於いては謝金が少なく、ポイントがつかないなどメリットが少ない。理事レベルに課題を把握してもらう必要がある。県士会としてどうしていくのか、まずは学術局で課題を共有する。

7.認定/専門理学療法士取得率向上のための広報活動について

- ・ 今年度新たに予算として計上した広報活動について、現在のところ HP へ掲載し士会員へ取得の魅力を発信する予定（理事確認中）としているが、その方法や内容等の検討が必要。
- ・ 簡略的かつ視覚的に訴えかけるような広報活動で取得を魅力的に伝えることが必要。
- ・ デジタルパンフレットなどを準備して士会が広報する必要があるのではないか。デザイナーなどに委託する、LINEWORKS で共有するなど。
- ・ 旧制度では申請方法などの分かりづらさが原因で取得できない方がいた。取得率向上を目指すのであれば申請方法の説明などをサポートする必要があるのではないか。

8.その他

令和 5 年度がんり八研修

井上先生からの返信がなく現在のところ進捗なし。

9.次回部会予定 未定

以上